

宮崎日日新聞 2013 年 05 月 25 日

精神障害者の自立支援 受け皿確保へ新団体

～来月から月 1 回市民交え勉強会～



精神障害当事者の支援の在り方について考える任意団体「精神障がい者自立支援ネットワーク・宮崎」が 6 月に発足する。

精神障害の当事者や医療・福祉関係者、学識経験者、弁護士らが毎月 1 回集まり、地域での受け皿整備に向けて意見交換する。

精神障害者の自立支援に取り組む NPO 法人「宮崎もやいの会」代表理事で写真家の小林順一さん（62）＝宮崎市＝が発起人となり「精神障害の分野ではこれまで専門職同士の横断的な集まりがなかった。当事者中心の支援を考えたい」と呼び掛けた。約 30 人が賛同しており、今後は市民を交えた勉強会を開くなどして発信していく。

精神障害の当事者数は推計約 4 万 1 千人（厚労省、2011 年 9～10 月調査）小林さんによると「このうち約 3 万人以上が入院や就業せずに在宅で過ごしている」という。県内 7 カ所の地域支援センターや各病院のデイケア施設が精神障害者らの日中活動支援や相談事業を行っているが、小林さんは「**交通アクセスによって利用者が限られており、就職や日中活動など受け皿の充実・拡大が課題**」と訴えている。

23 日は、同市民プラザで発足に向けた準備会を開き 12 人が出席した。勉強会でテーマを設定して、専門家よるレクチャーと意見交換会を行うことを確認した。第 1 回勉強会は 6 月に同プラザで開き、井上病院＝同市＝米良誠剛精神科医が「楽しくなければ精神科医療ではない」と題して話す。

参加無料。同会 ☎0985-71-0036

訂正に関して、

赤字の部分は、「定員」という文字が記載されていたのを訂正しました。定員があるのは福祉サービス事業所（就労移行事業所/就労継続事業所 A 型・B 型）に関することであり、支援センターや病院のデイケアには定員はありません。